

科目名	美しい思いやり		Subject	Thoughtful Consideration				
サブタイトル	「思いやり」とは何かを探求し、社会で実践できる幅広いマナーとホスピタリティを学ぶ。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	○	○		○	◎	
教員名	木村 克也			メールアドレス	〇〇@skycampus.jp			
教員の略歴	NP0 法人 日本マナー・プロトコール協会 理事・事務局長 中央大学卒業後、生命保険会社に入社。社内留学生生度を使って日米経営科学研究所（JAIMS）に半年間留学。 2007 年 内閣府国際青年育成交流事業バルト三国派遣団副団長を務める。							
実践的教育	マナーの教材開発や普及に長年携わってきた経験を生かし、マナーやホスピタリティを社会で実践できるよう演習を交えて伝えます。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要

日本人の美徳とされる「思いやり（Consideration）」の精神を理解することに加えて、社会人に求められる幅広いマナーとホスピタリティ、さらにコミュニケーションメソッドを学ぶことで、主に DP5 の「日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力」を身につけることができます。

具体的には、世代や人種、価値観の異なる他者と円滑なコミュニケーションが取れる人材になるための知識を得るだけに留まらず、演習を通じて行動に移せる実践力を培っていきます。日常生活の中からホスピタリティに関わる事例を探し、「気づく」ことができるように習慣づけ、人やもの全てに思いやりを持ち、相手のニーズを察することで、多様な価値観や考え方を理解し、相手を受容し、協働できる人になります。

科目の学びは、美道教育に位置づけられ、特に「精神美」にフォーカスしています。また他の必修科目とも連携されていることで、学びを深めていくことができます。

授業方法

対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作
○	-	-	あり	あり	-

授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）

ディプロマポリシー	授業の目標
DP5	日本文化の特徴を考えることから日本人の「心配り・気遣い」を理解し、自己の振る舞い、コミュニケーションの中で利他の精神・思いやりが発揮できる。
DP1	マナーやコミュニケーションに関する知識・技能を習得し、実践的な学びを通して、社会生活の準備を整えることができる。
DP2	マナーやホスピタリティマインドに則って、自らが主体的に考え、他者のために思いやりのある行動を実践することができる。
DP4	異文化コミュニケーションや宗教、多様性についての学習を通じて、価値観の異なる他者受容ができる。

教科書・教材

教科書	コミュニケーションマナー検定テキスト第2版（NPO法人日本マナー・プロトコール協会 著・発行 2025年）
参考文献	
各自準備教材	授業内で具体的に指示します。

評価方法

筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
40%	-	20%	20%	-	-	-	20%	-

なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。

課題（試験やレポート）のフィードバックの方法

毎週実施する課題については、各週の授業内でコメントをします。

履修上の条件・注意

私語、居眠り、飲食、私的な携帯電話の使用、授業の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。質問や意見をどんどん出して授業に積極的に参加することを望みます。

※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合があります。

本科目履修と関連する資格

コミュニケーションマナー検定、マナー・プロトコール検定3級（任意）

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 社会におけるコミュニケーションやマナーの重要性を学ぶ	授業の進め方、全体像を理解し、15 回の授業の展開を予測できるようになる。	予習：教科書Ⅰ「コミュニケーション上手になるために」を読む（45 分）。 復習：コミュニケーションに関して、自分の課題を考えてノートにまとめる（15 分）。	60 分以上
第 2 回	好感度を高めるためのポイントを習得する	自己が考える印象と他者から見た印象のギャップを理解し、好感度の高い挨拶、所作ができるようになる。	予習：教科書 P4～P11 にある QR コードから 6 つの動画を見る（30 分）。 復習：美しい姿勢、お辞儀で挨拶をする（30 分以上）。	60 分以上
第 3 回	コンプライアンスとは何かを学ぶ 傾聴のポイントを学ぶ	コンプライアンスを理解し、社会人としてのルールが守れるようになる。聴き方と伝え方の重要性を理解し、アクティブリスニングができるようになる。	復習：コンプライアンスについて理解したことをまとめる（30 分）。他者との会話の中でアクティブリスニングを実践する（30 分以上）。	60 分以上
第 4 回	自分の言葉づかいを見直す アサーティブコミュニケーションを学ぶ	相手に応じた適切な言葉づかいができるようになる。アサーティブなコミュニケーションができるようになる。	復習：ワークブック P12～P14 言葉づかいに関するワークを行う（30 分以上）。他者との会話の中でアサーティブコミュニケーションを実践する（30 分以上）。	60 分以上
第 5 回	教科書Ⅰ「コミュニケーション上手になるために」の総括・確認（小テスト実施）	第 1 回～4 回の授業で学んだコミュニケーションスキルを確認し、好感度の高い自己紹介ができるようになる。	予習：1 分間自己紹介の準備をする（30 分）。 復習：小テストの復習を行う（30 分以上）。	60 分以上
第 6 回	日本料理、西洋料理、中国料理の歴史と基本作法を学ぶ	各国料理について、フォーマルな場に相応しい作法で食事ができるようになる。	予習：教科書Ⅱ「生活のマナー」を読む（45 分）。 復習：正しい箸使いで食事をする（30 分以上）。	75 分以上
第 7 回	公共の場、訪問先でのマナーを学ぶ インターネットとの接し方を考える	公共の場で思いやりのある行動ができるようになる。あらたまった席で適切な振る舞いができるようになる。	復習：インターネットのセキュリティ・使い方を見直す（40 分）。公共の場で思いやりのある行動を実践する（20 分以上）。	60 分以上
第 8 回	結婚・葬儀、贈答のしきたりを学ぶ	結婚や葬儀、贈答のしきたりに込められた意義を理解し、適切な振る舞いができるようになる。	予習：教科書 P55～P57「祝儀・不祝儀の贈り方」を読む（15 分）。 復習：結婚・葬儀の復習シートを行う（45 分）。	60 分
第 9 回	通過儀礼・年中行事のしきたりを学ぶ	通過儀礼や年中行事のしきたりに込められた意義を理解し、適切な振る舞いができるようになる。	予習：教科書Ⅳ「人生や季節、折々のイベント」を読む（45 分）。 復習：ワークブック P20～P24 冠・祭に関するワークを行う（30 分以上）。	75 分以上
第 10 回	教科書Ⅱ「生活のマナー」、Ⅳ「人生や季節、折々のイベント」の総括・確認（小テスト実施）	第 6 回～9 回の授業で学んだ食事のマナー、冠婚葬祭のしきたりを振り返り、社会人として必要となる知識が習得できたか確認する。	復習：小テストの復習を行う（30 分）。ワークブック P15～P17 食事・公共のマナー・訪問に関するワークを行う（30 分以上）。	60 分以上
第 11 回	日本文化と多様性を学ぶ	日本文化についてディスカッションを行い、その特徴を多面的に理解できるようになる。多様性を尊重し、他者に思いやりをもって接することができるようになる。	予習：教科書Ⅱ「社会人として知っておくべきこと」を読む（45 分）。 復習：自己を振り返ってアンコンシャス・バイアスをノートに書き出す（15 分以上）	60 分以上
第 12 回	社会人意識とビジネス文書・メールについて学ぶ	仕事をする上で求められる心構えを理解し、実践できるようになる。形式に則ってビジネス文書・メールが作成できるようになる。	復習：課題に即したビジネスメールを作成し、講師へ送信する（30 分）。ワークブック P18 ビジネス文書に関するワークを行う（30 分以上）。	60 分以上
第 13 回	電話対応、名刺交換と席次を学ぶ	スムーズで好感度の高い電話対応、名刺交換が実践できるようになる。様々な場面で適切な席次を理解し、対応できるようになる。	復習：友人等と電話対応、名刺交換の復習を行う（30 分以上）。席次の復習シートを行う（30 分）。	60 分以上
第 14 回	プロトコールと宗教を学ぶ	プロトコール（国際儀礼）と宗教、異文化コミュニケーションの基本を理解し、国際交流ができるようになる。	復習：プロトコールが実践されているシーンをインターネットなどで見つけ、気付いた点をノートにまとめる（30 分）。異文化コミュニケーション・宗教の復習シートを行う（30 分）。	60 分以上
第 15 回	まとめ（15 回の授業を振り返る、小テスト実施）	授業を振り返り、他者への思いやりを適切なマナーで実践することができるようになる。	復習：小テストの復習を行う（30 分）。授業期間中、思いやりのある行動ができていたか振り返る（30 分以上）。	60 分以上